



# モリアオガエル

(2003年6月13日 撮影)

ふだん もり き うえ す ほか  
普段は森の木の上に棲むカエルで、他のカエルの  
ほとんどが すいちゅう たまご う たい  
ほとんどが水中に卵を産むのに対して、このカエル  
は しゃしん たまご つつ らんかい みず は  
写真はように、卵を包んだ「卵塊」を、水に張り  
だ き えだ う つ とくちょう  
出した木の枝に産み付けるという特徴がありま  
す。 いずみがたけ がつげじゅん がつちゅうじゅん みずべ  
す。泉ヶ岳では5月下旬から6月中旬ごろ、水辺  
でこの卵塊が見られます。

さんらんばしよ ぬま た さかな はな  
産卵場所の沼にオタマジャクシを食べる魚を放  
す ひと さんらんばしよ みず う た  
す人がいたり、産卵場所の水たまりを埋め立てたり  
したため、 いずみがたけ きゅうそく すがた け  
したため、泉ヶ岳では急速に姿を消しています。

